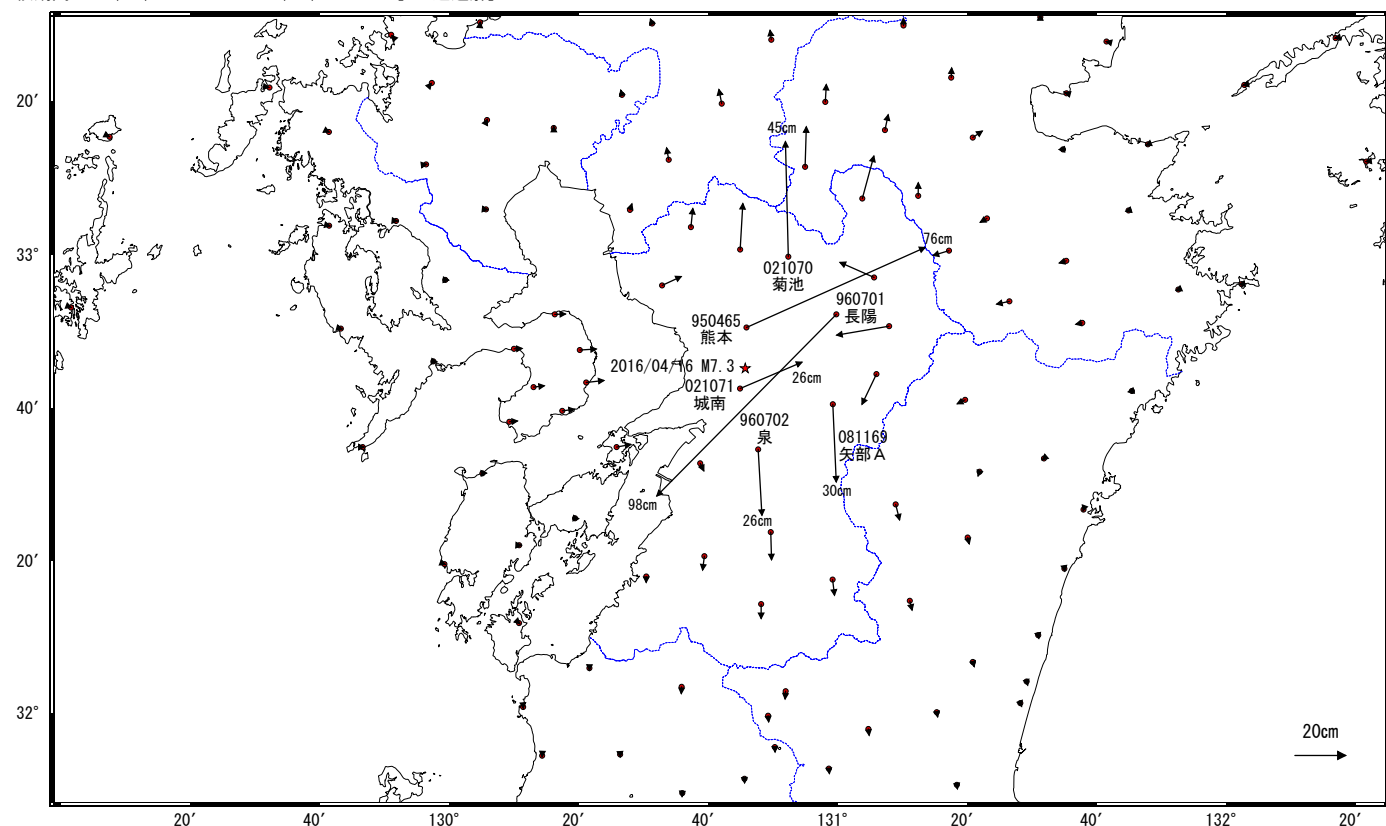


平成28年(2016年)熊本地震(4月16日 M7.3)に伴う地殻変動

この地震に伴い大きな地殻変動が観測された。

基準期間: 2016/04/15 03:00~2016/04/15 23:59 [Q3: 迅速解]
比較期間: 2016/04/16 06:00~2016/04/17 05:59 [Q3: 迅速解]

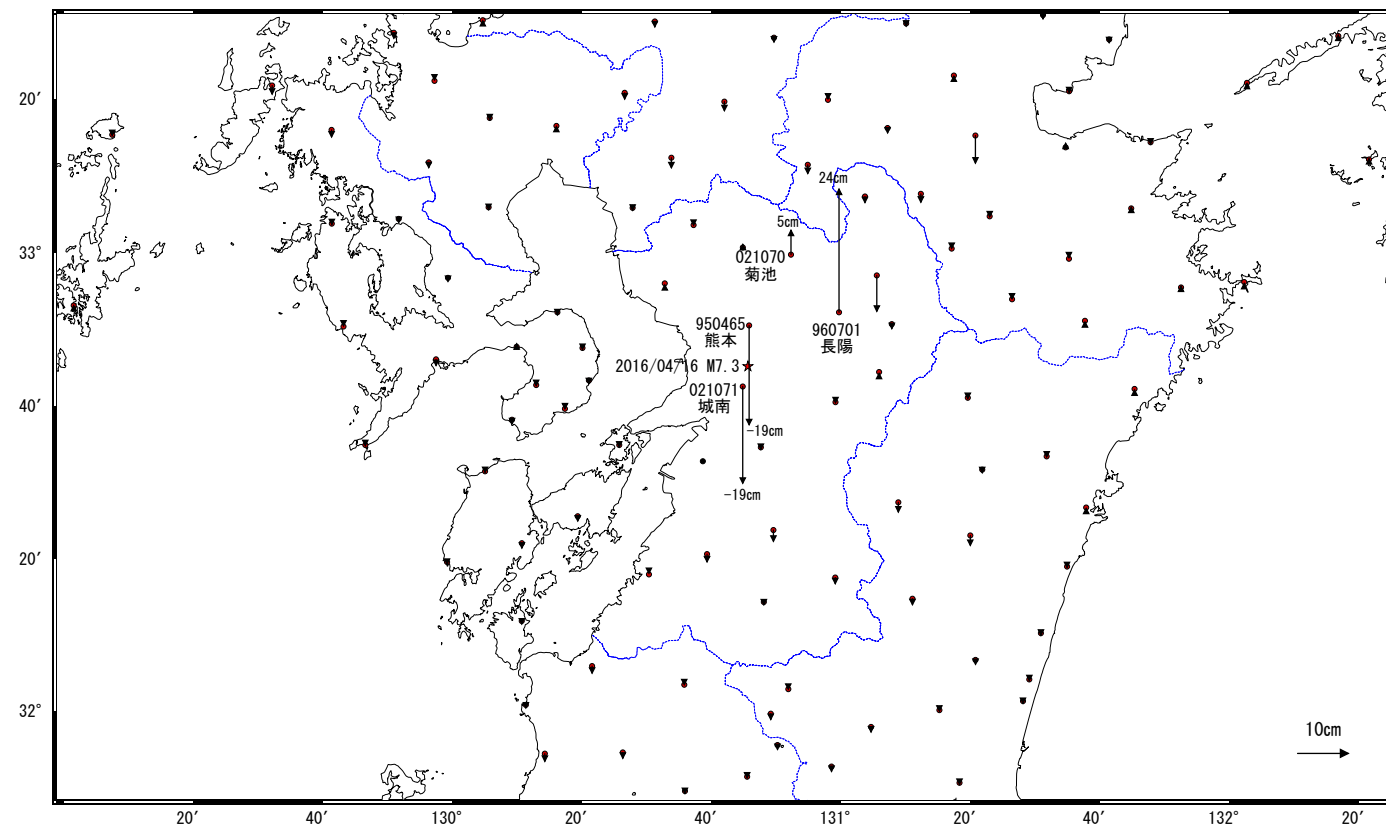
地殻変動 (水平)



☆ 固定局: 三隅 (950388)

基準期間: 2016/04/15 03:00~2016/04/15 23:59 [Q3: 迅速解]
比較期間: 2016/04/16 06:00~2016/04/17 05:59 [Q3: 迅速解]

地殻変動 (上下)



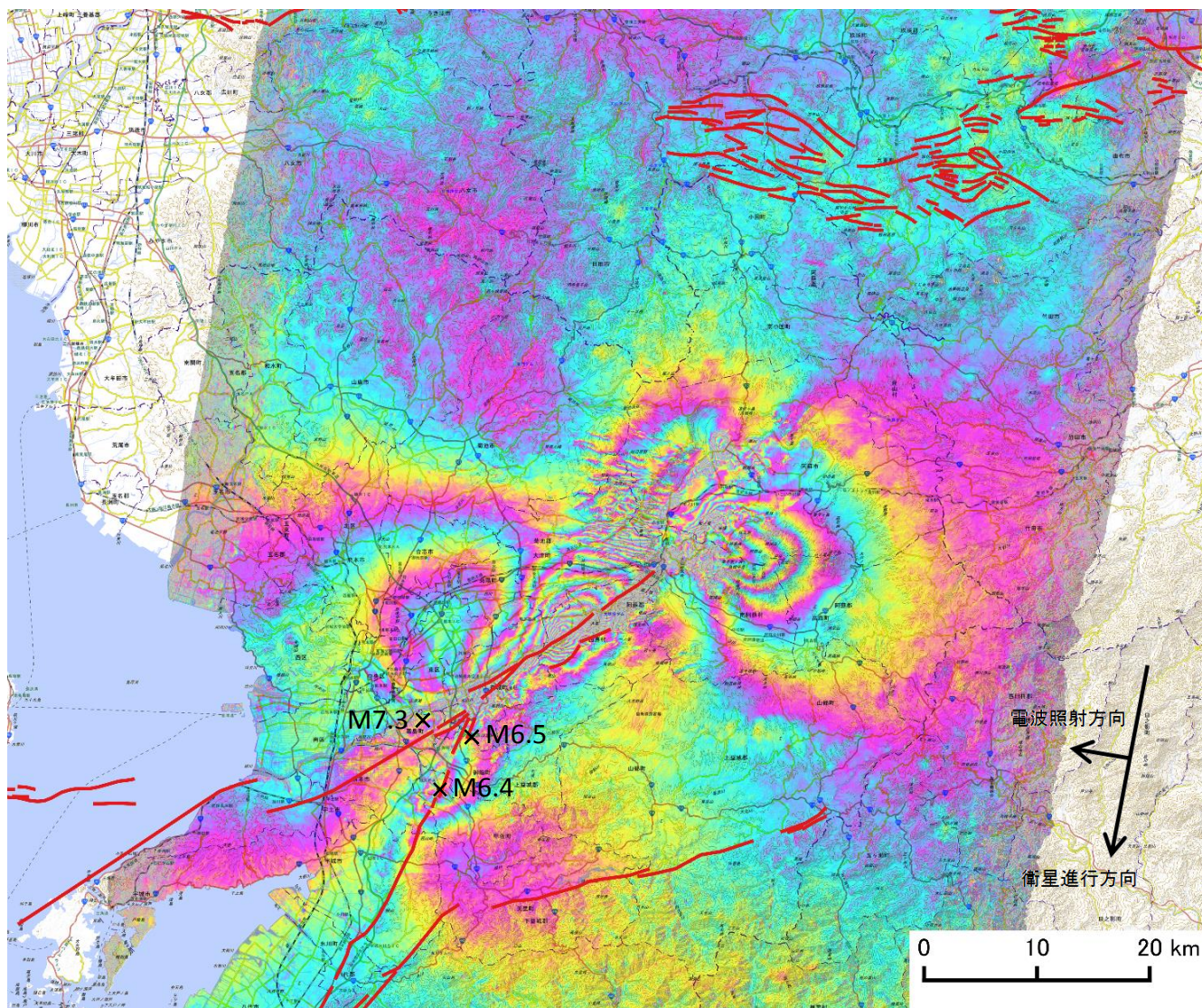
☆ 固定局: 三隅 (950388)

※4月16日以降の余震活動に伴う変動を含むと推測される。

平成28年熊本地震 「だいち2号」による地殻変動分布図（1）

だいち2号のデータを用いた SAR 干渉解析により、地殻変動が面的に明らかとなった。前震では日奈久断層帯沿い、本震では布田川断層帯及び日奈久断層帯に沿って、顕著な地殻変動が検出された。得られた地殻変動の特徴から、布田川断層帯及び日奈久断層帯において右横ずれ断層運動が生じたものと考えられる。前震、本震以外にも、余震に伴う地殻変動も検出されている。

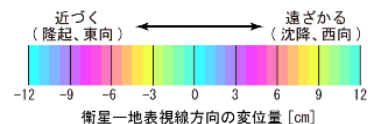
(a)2016/03/07-2016/04/18



— 活断層(地震調査研究推進本部)

✕ 震央

2016/04/14 21:26 深さ 11km M6.5
2016/04/15 00:03 深さ 7km M6.4
2016/04/16 01:25 深さ 12km M 7.3



平成28年熊本地震の滑り分布モデル（暫定）

SAR（だいち2号）及びGNSSで観測された地殻変動から、布田川断層帯および日奈久断層帯に沿った位置に震源断層が推定された。布田川断層帯では北西傾斜の断層面とその東側延長に南東傾斜の断層面、日奈久断層帯では北西傾斜の断層面で、それぞれ右横ずれ的な動きが生じたと推定される。

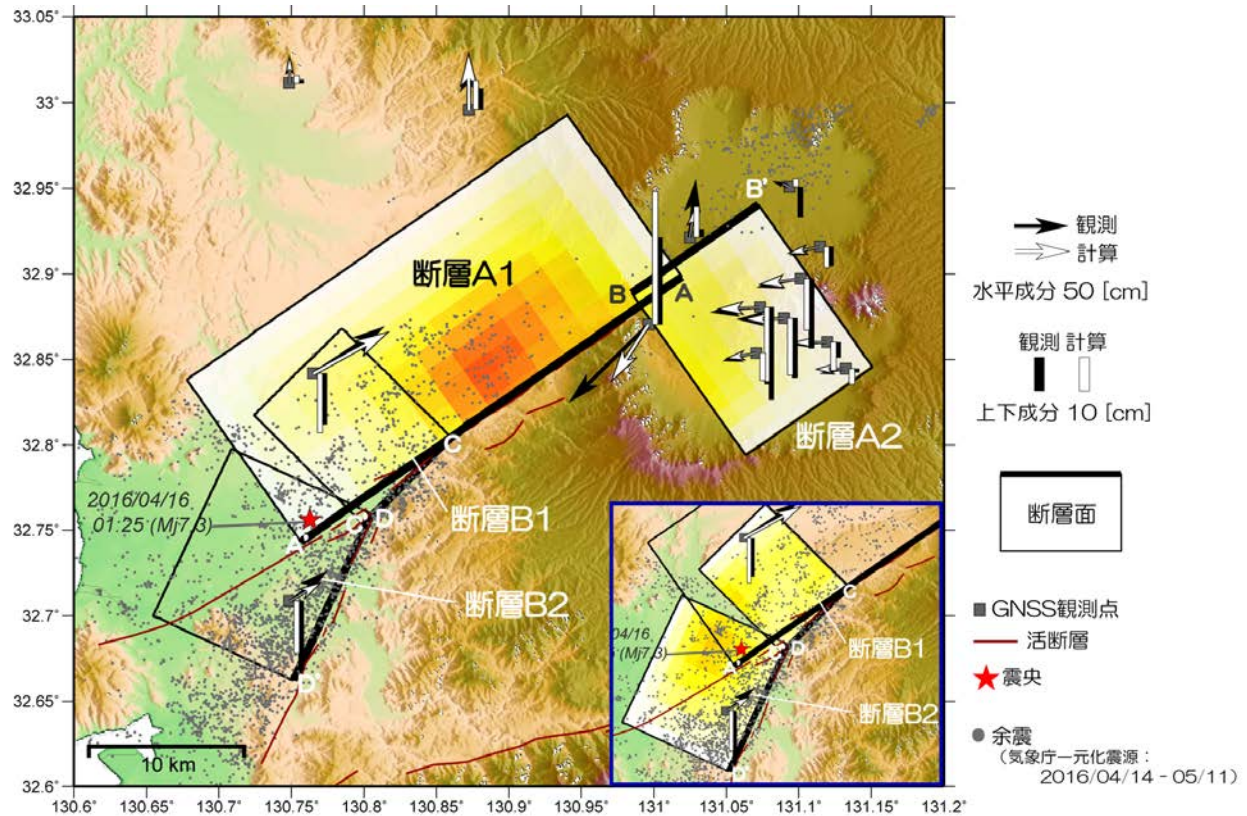


図1 断層モデルの位置とGNSSデータ(観測値・計算値)

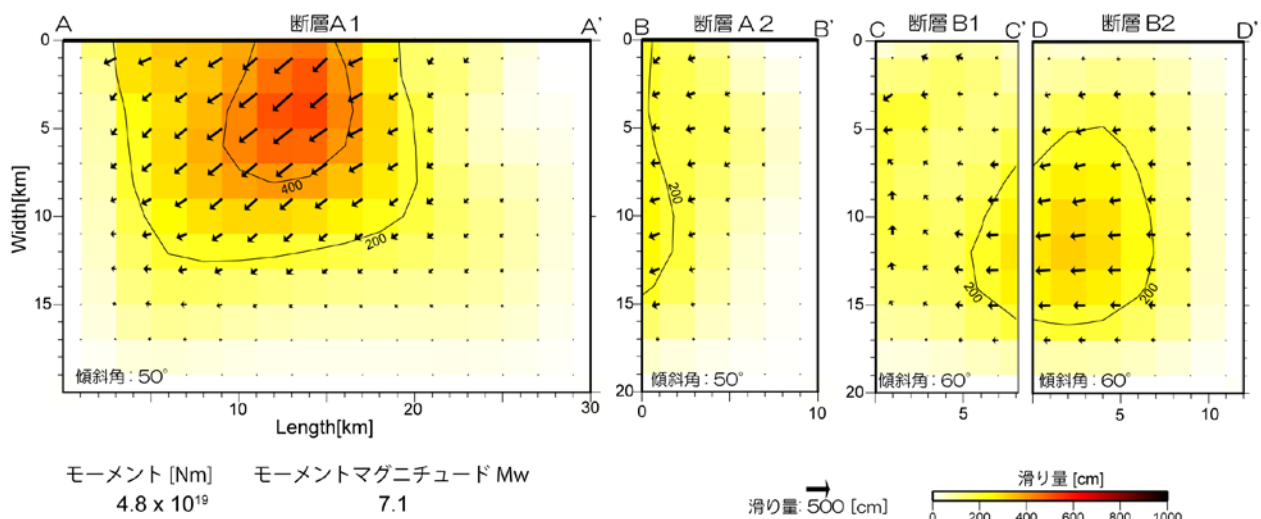


図2 推定された断層面上の滑り分布